

めいじ 明治43年（1910）の留萌

ナヲがやってきた留萌は、^{にしんりょう}鯺漁が^{けいざい}経済を支えていたの
はもちろん、この年に3年がかりの鉄道工事が終わり、^{ふか}深
^{がわ}川から留萌までとうとう鉄道が通じたのです。



当時の留萌の町並み^{まちな}

その上、長かった留萌築港運動(※16)が実り、留萌築港の
予算が2月の第2回帝国議会(※17)で可決され、4月から
築港工事が始まったばかりでした。

留萌に港が
作られるMO~!



明治43年(1910)頃の留萌川河口の様子

※16 留萌築港運動

明治24年(1891)から始まった五十嵐綱治、億太郎親子を中心とした留萌の有志がくり広げた留萌に港を作るための運動

※17 帝国議会

現在の国会

留萌のこれから^{はってん}の発展^{やくそく}が約束されているようで、町は活
 気にあふれていたのです。



明治43年(1910)の留萌町市街地全図